

## ▼アセレント注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】亜セレン酸ナトリウム sodium selenite 【分類】低セレン血症治療剤

【単位】▼100  $\mu\text{g}/\text{V}$  [2mL]

【常用量】■12歳以上：100  $\mu\text{g}/\text{日}$ より開始，50～200  $\mu\text{g}/\text{日}$ で調整 [最大300  $\mu\text{g}$ ]

■12歳未満：2  $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{日}$ （最大100  $\mu\text{g}$ ）より開始，50～200  $\mu\text{g}/\text{日}$ で調整。

【用法】中心静脈輸液に混注して点滴静注するか，末梢から点滴もしくは緩徐に静注■食事等によりセレンを摂取できない患者に使用される

【透析患者への投与方法】

【保存期 CKD 患者への投与方法】

【特徴】低セレン血症治療薬。セレン欠乏症として，爪の白色化や変形，筋肉痛，不整脈，視力障害，神経障害，毛髪変化，変形性骨軟骨変性，皮膚のびらん，大球性貧血などが知られている。セレン補充によりセレノプロテイン，グルタチオンペルオキシダーゼ等の生理機能が回復する。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】血球にて還元，肝にて代謝 (1)

【排泄】主に尿中へ排泄される（一部糞中）(1) 尿中回収率 30%以下 (1)

【CL】1.6mL/min/kg [ラット，iv] (1)

【t1/2】1.7hr [ラット] (1)

【蛋白結合率】遊離型 53% (1)

【Vd】1.4L/kg [ラット，iv] (1)

【MW】172.94

【透析性】除去される [vitro] (1)

【O/W 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【備考】還元剤（ビタミン C 等）との混合によりセレンの沈殿が生じるおそれがあるため配合変化に注意 (1) 1V 中，亜セレン酸 Na として 219  $\mu\text{g}$  含有。

【更新日】20220926

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。